

2024年11月22日

「タンザニアでの森林保全プロジェクト」が 「ウッドデザイン賞 2024」を初受賞

ヤマハ株式会社（以下、当社）のサステナビリティ活動である「タンザニアでの森林保全プロジェクト」が、一般社団法人日本ウッドデザイン協会主催の「ウッドデザイン賞 2024」を受賞しました。当社において初めての同賞受賞になります。

「ウッドデザイン賞」は、木の良さや価値をデザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を表彰する2015年に創設された顕彰制度です。

当社は今後もこのような活動を通し、楽器に欠かせない木材、その中でも楽器の性能や価値に直接大きな影響を与える木の種類に着目し、適切に保全することで、木材を大切に使いながら守る「サステナブルな森づくり」を目指していきます。

JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2024

<タンザニアでの森林保全プロジェクト> (受賞名: 森づくりで、音楽文化を持続可能にするプロジェクト)

当社は、楽器に適した高品質な木材を持続的に調達するために、地域社会と一体となった循環型の森林づくりを実現する「おとの森活動」を行政や学術機関と連携し、北海道やインドといった国内外で展開しています。「タンザニアでの森林保全プロジェクト」は、その活動の一つで、木管楽器の重要な材料である「アフリカン・ブラックウッド」の生態や森林の管理状況などの調査を2015年から開始した取り組みです。同樹種を楽器素材として持続的に利用できるビジネスモデルの実現に向け、森林保全と楽器生産、地域コミュニティ開発の観点から、植林技術の導入や土地利用の改善、材料利用技術の開発などを進め、地域住民の手による苗木育成・森林保全活動の定着を支援しています。

・おとの森活動について：<https://www.yamaha.com/ja/stories/environment/otonomori/>

地域コミュニティと協働で
行っている生態調査

地域コミュニティとともに森づくりを実施

アフリカン・ブラックウッドから
作られたクラリネット

※一般社団法人日本ウッドデザイン協会について

木を活用した社会課題の解決をめざす取り組みを「ウッドデザイン」と定義し、「ウッドデザイン」に関わるあらゆる分野において、会員相互の連携並びにあらゆるステークホルダーとの対話及び協力によって、調査、研究、開発、事業創造、普及及び啓発することを目的として設立された団体です。

一般社団法人日本ウッドデザイン協会：<https://www.jwda.or.jp/>

*その他、文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

■ この件に関するお問い合わせ先：

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 佐藤歩 Tel. 053-460-2210